

ランナー vol.8

2018年6月



↑HPはこちらから

お知らせ

当社会長の鈴木秀典が、一般社団法人日本施設園芸協会の会長に就任いたしました。

神さまのシステム用語・計算方法

「温室の棟方位・屋根形状と日射透過率」について

方角や単棟と連棟それぞれで温室内に入る光にどのように違いがあるのかについて下記の参考文献に基づいて説明します。

●単棟温室の場合

- ・ 冬至・立春の時は南北棟より東西棟の方が温室に光が多く入る。ただし、東西棟は温室内北側に弱光帯ができ、光の分布に難がある。
- ・ 春分・夏至の時は南北棟の方が温室に光が多く入る。
- ・ 屋根勾配は大きい方がいいが、丸屋根も光を多く通す。
- ・ また、丸屋根の場合、東西棟建設時の弱光帯が極わずかになる。
- ・ 明け方は屋根勾配が30°方が光は多く入るが、日中は勾配が少ない15°の方が光が多く入る。



●連棟温室の場合

- ・ 冬季は単棟より光環境が悪い。冬季以外の時は単棟とほぼ差がない。
- ・ 南北棟は東西棟に比べ冬季の温室内日射量は少ないが、位置によるムラが少ない。連棟の東西棟建設時の北側の弱光帯は単棟のときより深刻な問題であるため、基本的には建設には適していない。
- ・ 屋根勾配30°だと南北棟より東西棟の方がよく光を透過するが、15°だと東西棟も南北棟もあまり変わらない。

参考文献「温室の光線透過に関する模型実験（第1報、黒住・川島）」
「温室の光透過に関する数値実験（第2報、古在）」

ゆうさんの水産豆知識

水族館豆知識 Part6

第6回目は、イルカについてです。
水族館といえばイルカを想像する方も多いのではないのでしょうか？
今回はそんなイルカの豆知識です。



イルカは仲間同士でコミュニケーションが取れることは有名ですよね。ですが、アメリカのイルカと日本のイルカでは話す言葉が違うそうです。

えっ、じゃあ、
アメリカと日本のイルカはコミュニケーションが取れないの？
と思う方がいるかもしれません。



いえいえ、そんなことはありません。
アメリカと日本の言葉両方を話せるイルカが存在するのです。

このバイリンガルのイルカによってコミュニケーションが取れるわけです。



余談

風邪

イルカも風邪をひき、咳をします。

咳は、噴気孔から立て続けに息を吐きだすそうです。

噴気孔

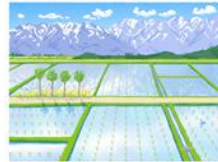


編集長 武藤の巻頭ご挨拶

6月に入り、じわりじわりと蒸し暑い日が増えてまいりました。6月には、6月6日から夏至までの間の「芒種」と呼ばれる時期があります。この「芒種」というのは、芒(のぎ)のある穀物や稲、麦など穂の出る穀物の種をまく季節という意味があります。実際の種まきの時期とは、ずれがありますね。

6月は陰暦で「水無月」と表現されます。これは、田植えを行うために多くの水を必要とする、「水の月」という意味があります。青々とした稲が水面に揺れている様子が各地で見られる、この時期にぴったりの言葉ですね。

これから気温はますます高くなり、外での作業が大変な季節となります。水分と休憩をしっかりとって、熱中症や脱水症状には気をつけましょう。



大地の千葉研究農場トマト便り

6月水無月、そんなことは関係ない。水の滴るいい男！千葉農場、森内です。
さて先月に引き続き、太陽熱利用集熱・放熱システムについて関山先生にインタビューいたします。

森内：システムの概要を教えてください。

先生：図1に示します。集熱については、昼間に梁の上や植物の陰にならないハウス上部の空間に設置した集熱器に水を通し、熱を回収し、温水に変え熱を蓄えるものです。放熱は、放熱器に温水を通して放熱するシステムです。

森内：植物の陰にならない場所に設置するのはいいですね。

ただ、どうして梁の上などの高い場所に設置するのですか？

先生：図2はサーモグラフィ画像です。左の写真は、サーモグラフィ画像と同一の場所で撮影したものです。従来の太陽熱利用の場合、集熱器周辺の温度は20~30℃ほどで、植物の高さと同じ場所で集熱をしていました。しかし、梁の上では、45~55℃に達し、高い効率で集熱することが可能です。

森内：これは、ハウス上部空間の熱を利用するしかないですね。

また、熱媒体が水なのでイチゴのクラウン加温などの局所暖房に有効ですね。

先生：その通りです。また、ヒートポンプなどの補助暖房として使うことで、環境負荷・コストの低減につながります。

森内：この度は、ありがとうございました。

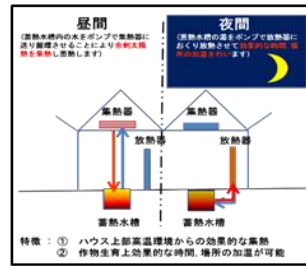


図1



	過去	現在
集熱場所	栽培空間	ハウス内上部空間
	20~30℃	45~55℃

図2

わたわたの土のお話

【農業と土】

大昔の人たちが、今よりももっと激しい環境の中で、安定してご飯を食べるため、農業を始めました。中でも、植物を育て作物を得る耕種農業の進展のかたわらには、必ず土の存在がありました。水を蓄え、植物に栄養を与え、たくさんの生き物の生活の場である大地は、なくてはならないものだったはずですが、しかし、技術的な農業が浸透し、「土離れ」をする農業が増えてきました。土の中には作物に有害な生き物も存在しますし、時には化学的、物理的に植物が育たないような土壌になってしまふこともあるからです。私達には土の中全体を見渡すことはできず、制御がとても難しいため、土から離れて農業を行う人が増えてきているように感じます。長い長い農業史の中で、今まではなかったとても大きな変化が起ころうとしているのかもしれないかもしれません。今から10年後、100年後に農業がどんな形をしているのか、計り知れない大きな変化の中で、農業の進展を見守れることがなにかうれしい今日この頃です。

そんな過渡期にこそ！土を知り、土に親しみたい！ということで今月から、わたわたこと私、石渡が豆知識や土談義、レポートなどなど、土に関することを徒然なるままにお届けさせていただきます。

耕種農業

農業という大きなくくりから酪農を除いた、植物を育てる農業の分類名のこと。



新入社員 自己紹介

先月号に引き続き、新入社員の自己紹介を掲載いたします。

住友 優希

営業本部営業技術室 千葉研究農場所属となりました。住友優希です。水と緑の豊かな長崎県島原市から参りました。

長崎大学水産学部出身で、4年時には循環式陸上養殖によるクロマグロの飼育管理に携わって参りました。水と緑をつなぐ閉鎖循環システムを描きつつ、今はトマトと向き合っております。特技は少林寺拳法で、趣味はツーリングです。

健康第一で、毎日元気に業務にあたり、少しでも早く知識や技術が身につくよう努力します。よろしくお願ひ致します。



大津 葵

初めまして！本年度より新しく仲間入りいたしました、大津葵と申します。九州共立大学を卒業し、学生時代は野球をやっておりました。

趣味は体を動かすこと（フルマラソンにチャレンジしようと思っています）、カラオケです。

今年は、少しでも多くの仕事を覚え、仕事を任せられる準備をしていきます。

未熟者がゆえにご迷惑おかけすることもあると思いますが一生懸命をモットーに日々前進し、たまに休んで頑張っていきますので、よろしくお願ひ致します。



山田 レナ

はじめまして。4月から新城工場で建材受付として働かせていただいております、山田レナと申します。名前がカタカナなのでよく聞かれることがありますが、残念ながらハーフではなく純日本人です。

趣味は旅行です。といえるほど様々な地へ行ったことはありませんが、旅行したい願望はとても強いです。写真を撮るのも好きなので、学生時代に買った一眼レフカメラを持って色々なところへ行って、たくさん写真を撮りたいと考えています。

これから皆様にはご迷惑をおかけすると思いますが何卒宜しくお願い致します。



青山 佳那子

新城工場 建材事業部に配属されました、青山佳那子です。愛知県豊川市出身です。

高校、大学の計7年間建築について勉強してきました。この経験を活かし頑張っていきたいです。

趣味は絵を描くことです。小さいころから現在もいろいろ描いています。

まだまだ慣れないことも多いですが、一つ一つ着実に覚えていき、早く一人前になれるよう努めてまいりますので、これからよろしくお願ひ致します。



TOMOYAの英語で学ぶ今月の名言

Efforts and courage are not enough without purpose and direction.
目的と方針がなければ、努力と勇気は意味をなさない。

- John F. Kennedy (ジョン・F・ケネディ、政治家)



福くんの栽培お役立ちコーナー

6月～8月の予報

栽培ワンポイント

向こう3か月は全国的に気温が高いですが、降水量はほぼ平年並みになるでしょう。例年より気温が高いため、熱中症に注意しましょう。特に梅雨の晴れ間や梅雨明けは、暑さに身体が慣れていないため要注意です。こまめな休憩と水分・塩分補給を心がけましょう。

気象庁「3か月の平均気温・降水量」「月別の平均気温・降水量」を加工して作成

平均気温

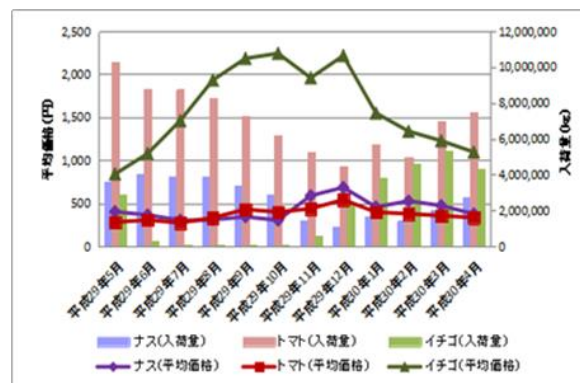
地域	平均気温			
	6月～8月	6月	7月	8月
北日本	高い	平年並か 高い	平年並か 高い	平年並か 高い
東日本	高い	ほぼ平年並	高い	平年並か 高い
西日本	高い	ほぼ平年並	高い	平年並か 高い
沖縄・奄美	高い	高い	高い	平年並か 高い

降水量

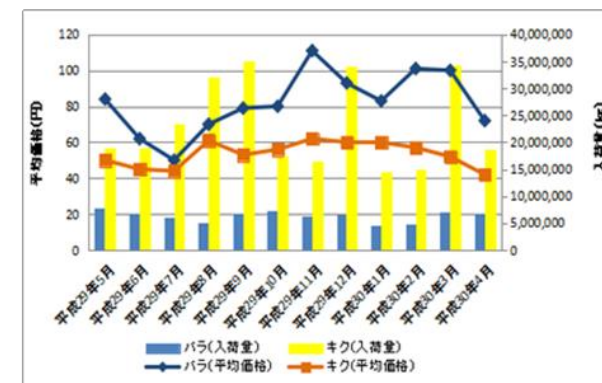
地域		降水量			
		6月～8月	6月	7月	8月
北日本	日本海側	ほぼ平年並	ほぼ平年並	ほぼ平年並	ほぼ平年並
	太平洋側	ほぼ平年並	ほぼ平年並	ほぼ平年並	ほぼ平年並
東日本	日本海側	ほぼ平年並	平年並か 多い	ほぼ平年並	ほぼ平年並
	太平洋側	ほぼ平年並	平年並か 多い	平年並か 少ない	ほぼ平年並
西日本	日本海側	ほぼ平年並	平年並か 多い	平年並か 少ない	ほぼ平年並
	太平洋側	ほぼ平年並	平年並か 多い	平年並か 少ない	ほぼ平年並
沖縄・奄美		平年並か 少ない	平年並か 少ない	平年並か 少ない	ほぼ平年並



トマト・イチゴ・ナスの平均価格と入荷量



キク・バラの平均価格と入荷量



ランナー vol.8 2018年6月発行 掲載記事の無断転載を禁じます。

発行所 株式会社 大仙 営業事業部
〒440-8521 愛知県豊橋市下地町字柳目8
[TEL] 0532-54-6521 [FAX] 0532-57-1751 [E-mail] mail.magazine@daisen.co.jp [登録]

※メールマガジン配信希望の方は、右にありますQRコードよりご登録いただくか、上記のE-mailアドレスより空メールの送信をお願いいたします。

